

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」所沢校			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数)	49
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月6日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「放課後等デイサービス計画」を示し、それに基づいてこどもの特性等に応じた支援を提供すると共に、こどもの状況について日ごろから保護者と伝えあい、共通理解を図っていること。	・個別支援計画更新時には、必ず保護者の同意をいただいている。 ・毎支援後、保護者の方へFBを行い、その日の支援内容や子どもの状況等について丁寧に説明している。併せて、家庭や学校の様子についてもお話をお聞きし、「きらり」以外の場での子どもの様子について共通理解をもてるようにしている。	・毎支援後の丁寧なフィードバックを継続する。 ・保護者の方の支援見学の機会や支援時間を活用した相談の場を積極的に設けることで、情報共有の一層の充実を図る。
2	日頃から共感的な姿勢で支援を行うと共に、定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援を行っていること。	・半年に一度のモニタリング面談を確実にし、現状把握に努めると共に子どもの状態や進路等について、必要に応じて助言している。	・モニタリング面談の確実な実施を継続する。 ・子どもの様子や保護者の心配事など、気になることがあれば事業所側から働きかける事で相談の場をもち、保護者・子どもの不安解消につながるよう努める。
3	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	・契約時に、防災訓練や事故発生時の対応等、緊急時の対応やマニュアル整備について説明している。 ・防災訓練の案内は、毎月教室玄関のホワイトボードに掲示している。	・今後も契約時の丁寧な説明、構造化された環境下で必要な情報を利用者が閲覧しやすい環境調整の工夫を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士・きょうだい同士の交流の機会がなく、保護者やきょうだいに向けての支援が不十分なこと。	・現状、保護者会やきょうだい向けのイベントを実施していない。	・利用者からの要望があった場合、実施を検討する。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がないこと。	・現状、放課後児童クラブや児童館、地域の中で活動する機会を提供していない。	・要望があった場合、行政や関係者とも相談しながら実施を検討する。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が不十分なこと。	・「きらり」主催での家族支援プログラムを実施していない。 ・外部の研修については、チラシを保護者の待合スペースに置いて周知しているが、個別でのご案内等は行っていない。	・要望があれば「きらり」主催の家族支援プログラムの実施を検討する。 ・外部研修のチラシについては、フィードバックを利用して個別にご案内を差し上げる。保護者来所の機会が少ない家庭については、LINE等で連絡をする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」所沢校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

55

回収数

49

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38	10	0	1	・運動のスペースが充分とは言えない為 部屋が分かれておらず、一つの部屋にい くつかの年代が一緒にいるので、集中し づらい時もあるかと思います。 ・理想を言えば、もう少しスペースがあ ればと思います。 ・今のままでいいと思いますが、人数 が多い時などもう少しスペースがあつて もいいと思います。	・利用者の特性に合わせて、支援スペースの 使用箇所やパーティションの利用を工夫し、 できるかぎり配慮しながら対応する
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	47	1	0	1	・特記なし	・今後も適切な人員配置のもとでの支援 が継続できるようにする
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	38	9	0	2	・除菌用のアルコールボトルが、上がり 框より遠い。靴を脱いでから使うのでし んどい。	・利用者の特性に合わせて、支援スペースの 使用箇所やパーティションの利用を工夫し、 できるかぎり配慮しながら対応する
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	42	7	0	0	・換気をこまめにしてほしい。 ・建物が古いので仕方がない面もあるか と思います。 ・下駄箱をもう少し大きく、スリッパの 数を増やしていただくと助かります。 また、少し汚れが気になります。	・定期的な清掃、利用児の目につくところに 教具を置かない等、心地よく過ごせる環境と なるよう今後も工夫を重ねていく
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	47	1	0	1	・高学年以上での小集団イベントなどが あると嬉しいです。	・利用児の特性や現状に応じた関わりが できるよう、家庭との情報共有を行いな がらの関わりを継続する
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	47	1	0	1	・特記なし	・現在準備中
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	46	2	0	1	・毎回きめ細かく関わってくださってる ので、本人も安心して自分のことを話せ ているようです。	・日々の支援やモニタリングの際、ニー ズを丁寧にヒアリングした上で個別支援 計画を作成している
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	39	3	0	2	・特記なし	・各項目、基準を満たす形で作成してい る。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	46	2	0	1	・特記なし	・個別支援計画の内容を確認した上で支 援に臨むようにしている
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	38	8	1	2	・こちらの要望（今困っていることや強 化したいことなど）に対応してくれるの で、多少の固定化は仕方ないと思いま す。 ・助かっています。 ・色々なプログラムを取り入れてくださ り、ありがとうございます。	・利用児の現状に合わせた支援が提供で きるよう、検討を重ねていく
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	16	7	16	10	・定期的な集団療育での交流はあります	・要望があれば対応する
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	46	2	0	1	・特記なし	・契約時に説明をしている
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	49	0	0	0	・特記なし	・毎回、説明の上保護者に同意をいただ いている
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	23	7	7	12	・一方的に聞いてもらっているかも知れ ません。聞いてもらうだけでかなり助け られています。	・各種研修等の案内については、保護者 の待合スペースで閲覧できるようにして いる
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	47	1	0	1	・特記なし	・毎支援後に保護者へFBを行い、家庭や 学校での様子についても情報共有を行う ようにしている

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	48	1	0	0	・特記なし	・支援後のFBやモニタリング面談、家族支援等を通じて行っている
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	48	0	0	1	・特記なし	・利用児の特性に合わせた関わりができるよう、配慮を行う
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	7	7	29	・特記なし	・要望があれば実施を検討する
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	40	4	0	5	・特記なし	・契約時に説明をしている。その他、支援後のFB時に案内をしている
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	47	2	0	0	・特記なし	・電話やLINEなど、状況に応じて複数の連絡手段を用意している
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	44	2	0	3	・特記なし	・ブログ、Instagramで支援内容について発信している
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	45	0	0	4	・特記なし	・法令に則り、十分に注意をして取り扱っている
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	47	2	1	9	・特記なし	・契約時に説明している。各種訓練は規定回数を守って実施している
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	2	1	14	・特記なし	・月1回実施している
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	42	0	0	7	・特記なし	・契約時に説明している。支援中も、安全に留意しながら関わっている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35	0	0	14	・事故等ないのでわからない。	・契約時に説明している
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	46	2	0	1	・特記なし	・利用児が安心して通所できるよう、支援内容や環境構成での配慮を継続する
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	38	9	2	0	・楽しそうに通っているので、とてもありがたいです。	・利用児が楽しみながら活動できるよう、支援内容や提供方法を工夫しながら関わっていく
	29	事業所の支援に満足していますか。	46	1	0	2	・特記なし	・今後も小集団イベントの企画を継続すると共に、日々の生活での困りごとの軽減に向けた支援が行えるよう、工夫を重ねていく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」所沢校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用人数は児童の実態に応じて、適切なスペースの確保が可能になっている。	・活動内容によっては、スペースが足りないと感じる時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・適切に配置できている。 ・必要に応じてFB時にも職員をつけている。	・今後も適切な人員配置のもと、教室運営を継続できるよう尽力する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・壁面やお知らせを支援ブース外に掲示し、視覚刺激を減らすよう配慮している。 ・職員スペースの入口に線を引き、分かりやすいよう工夫している。 ・利用児の特性に応じて、使用するテーブルの位置を指定している。	・教室が既存の物件であるため、改善することは難しい。 ・バリアフリー化はできていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・清潔に過ごせるよう、定期的に分担して清掃を行っている。 ・支援スペースに的を敷くことで、リラックスして過ごしやすい空間になっている。	・マットの整容が必要なことと、位置ずれが起きないように留意する必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・パーティションで区切って個別支援のスペースを確保している。 ・年齢別に椅子や机の配置を変え、利用児が過ごしやすい環境にしている。	・クールダウンスペースにできる場所があると良いと思う。 ・備品等の安全点検を頻繁に行うと共に、定期的に教材教具の補充と廃棄を行う必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・目標設定や振り返りを定期的に行っている。	・全員出勤日が少ないため、職員間での伝達を確実に行う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年に一度実施し、結果を元に業務改善につなげている。	・今後もすべての保護者の声を聞き、しっかり寄り添ってご意見をいただく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・週に一度のミーティングで共通は開くをしている。 ・月に一度の管理者との個別面談を行ったり購入物品の希望を吸い上げたりと、多くの場で話し合いをする場が設けられている。	・ミーティングを継続的に実施し、効率よく且つ丁寧な情報教諭・業務改善に向けた対応をとる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現状、実施の機会はない。	・必要に応じて、実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的に研修や勉強会の機会が設けられている。	・支援を優先することがあったり、日頃の業務で多忙な時期と研修参加の時間との兼ね合いが難しい場合がある。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・適切に作成し、ホームページで公表している。	・今後も適切な手順を踏んで対応する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・保護者からのお話や児童の様子をもとに検討し、計画に反映させている。	・今後も適切な手順を踏んで対応する。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・ミーティングに加え、モニタリングに伴った検討を行っている。 ・指導員が捉えている支援態勢を踏まえながら検討が行われている。	・今後も適切な手順を踏んで対応する。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・データベースでも紙ベースでも、常に確認できるようになっている。変更がある度に周知されている。 ・回覧や会議により、各指導員に的確に伝達され支援に活かされている。	・定期的に支援計画に目を通すなどの確認は必要だと考える。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントシートの定期的な更新・ミーティングでの情報共有を行っている。 ・会話や支援中の様子、保護者からの聞き取りなど、状況を多くの手段で確認している。	・作成を行ったきりになってしまいがちで、見直す機会が少ないため、見直す習慣をつける必要がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・必要な支援、具体的手立て等について児童毎に設定されている。	・移行支援、地域支援については、特にニーズがない事もあるが、あまり実施できていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・日々の支援内容を見返した莉、支援毎での様子を職員で共有しプログラムを立案している。 ・小集団支援では、複数人の担当で話し合っってプログラムを決めている。	・今後も職員一丸となって取り組みたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・支援記録を参考にし、固定化されないようにしている。 ・支援内容によっては繰り返し行いたいものもあるため、ミーティングなどの話し合いを使って職員間で共有している。	・学習中心のプログラムは固定化されやすい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・不定期で小集団支援を実施している。	・今後も小集団支援を継続して取り入れる。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・口頭での確認やスプレッドシートでの引き継ぎが行われている。	・状況に応じて臨機応変な対応をとりながら、今後も継続する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・お子様の変化に対して、必要に応じて支援後に共有している。	・終了後に共有できない場合は、次の営業日の支援前打ち合わせで必ず行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・記録漏れがないか、階層により記録チェックを行う職員が定期的に確認し、他職員にお伝えしている。 ・特記事項はミーティング時に共有している。	・今後もミーティング等にて検討事項を話し合っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的に実施している。	・今後も定期的かつ確実に実施していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・一つの活動にこだわらず、様々な活動を取り入れている。 ・「地域活動の交流」については、地域行事のチラシ掲示を行っている。	・今後も全ての指導員が関わられるようにしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・支援の進め方について、選択できる場面の設定が行われている。	・お子様の特性をしっかりと見極めながら支援を行う。
関係機関や保護者と	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児発管を中心に、指導員も参画している。	・今後も全ての指導員が関わられるようにしていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて、他事業所との情報交換を行い、支援の方向やそれぞれの役割を検討している。	・可能な限り連携を強化していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・必要に応じて、他事業所との情報交換を行い、支援の方向やそれぞれの役割を検討している。	・可能な限り連携を強化していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・前例なし。	・必要に応じて実施できるよう、教室内の対応を整える。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・前例なし。	・必要に応じて実施できるよう、教室内の対応を整える。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・地域の研修の参加募集や報告など、共有がなされている。	・頻繁には行っていない。

の連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・現状、実施の機会はない。	・必要があれば、実施を検討する。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・適宜参加している。	・今後も継続的に参加する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・FBでは、支援の様子を指導員からお伝えするだけでなく、保護者からも最近の様子についてお話いただくようにしている。 ・必要に応じてLINEも活用している。	・保護者との共通理解をもっと深めていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・必要に応じて家族支援を実施している。	・ペアレントトレーニングを充実させていけるともっと良いと思う。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時やモニタリング面談、運営規定の変更時などの機会を込て実施している。	・今後も丁寧な説明を心がける。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・児発管を中心に、適宜実施している。 ・利用開始時や日々のFB、面談等で意向を確認している。	・今後とも、適切に実施していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・確認の上、同意をいただいている。 ・支援計画は日々のフィードバックなどの聞き取りを反映させている。	・今後とも、適切に実施していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・フィードバック時に家庭の様子やお困りごとをうかがっている。 ・必要に応じて児発管や専門性の高い職員が家族支援を実施している。	・今後とも、適切に実施していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	・保護者会等は実施していない。 ・小集団で多少なりとも保護者同士は交流を行っている。きょうだい同士ではフィードバックを中心に行っている。	・ニーズがあれば、保護者会の実施を検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情窓口を設置し、適宜対応を行っている。	・今後とも迅速に対応する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・定期的にInstagram、ブログを更新している。 ・行事等についてLINEでお知らせしている。	・今後も発信内容を工夫しながら行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・ガイドラインに沿って実施している。 ・書類は書庫で管理している。 ・ミーティング記録も個人が特定されないよう留意している。	・今後も適切な取り扱いを留意する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・利用児がご家族の実態に合わせた配慮が行われている。	・今後も十分に留意する。
非常時	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・現状、実施していない。	・今後、必要に応じて実施を検討する。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルの整備と定期的な研修・訓練を実施している。 ・公休等により、当日不参加となった職員に対しても適切に共有できるよう記録を残している。	・利用者や保護者を含めた訓練を適宜実施しても良いと思う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・策定し、適宜見直しを行っている。 ・定期的な研修と訓練を実施している。	・今後も、必要な研修・訓練を確実に実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時はモニタリング面談等で必ず確認を行っている。	・今後も確実に確認する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・小麦粘土の使用を見据え、確認をしている。	・今後も確実に確認する。
非常時	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・作成し、定期的な研修や訓練を実施している。	・新しい計画を立てる際は、前年度の反省点を活かしていく。



同等 の 対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に確認をしている。</li> <li>・書面にて周知している。</li> </ul>	・今度とも、確実に周知する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットが発生した際は、即時、保護者に謝罪し状況報告を行っている。</li> <li>・全職員に周知し、再発防止を図っている。</li> <li>・上長へ報告し、教室をまたいだ共有の仕組みもできている。</li> </ul>	・更に職員間での共有を密にし、事故につながらないようにする。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の実施とチェックリストの作成を行っている。</li> <li>・複数の目での見守りをする事で防止している。</li> <li>・抱っこも場合によっては虐待に当たる可能性があることを共有している。</li> </ul>	・今後とも、しっかり研修を通じて虐待を起こさないように努めるとともに、アセスメント時に虐待チェックリストを作成する。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に説明をしている。</li> <li>・研修を通じて職員の身体拘束に対する意識を高めている。</li> <li>・支援計画に記載し、保護者への説明を行っている。</li> </ul>	・今後とも、研修等を通じて共通理解をしていく。